

市立図書館

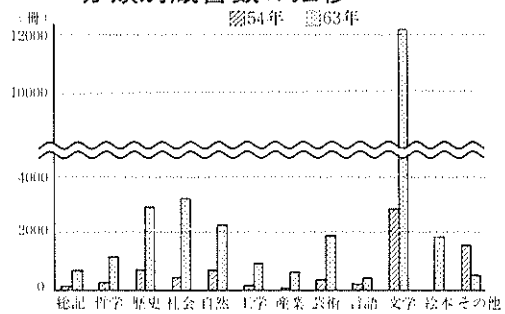
親しまれて十年

貸出冊数まもなく五十万冊に

市制施行二十周年を記念して、市民の長年の夢であった市立図書館が開館したのは、昭和五十四年九月二十八日。以来十年間、

市民の皆さんに親しまれて内容も充実。貸出冊数は五十万冊に達しようとしています。当時、学校を対象とした巡回図書館はあったものの、市民がだれでも利用できる図書館はなく、図書館の設立については、市民からも強い要望が出されてきました。そのようななかで、市民の皆さんに図書寄贈の呼び掛けなども行い、寄贈一千冊余りを含む六千五百冊の蔵書数で

分類別蔵書数の推移



開館。その後、入交特設文庫の開設、土曜日午後の開館、移動図書館の開始、読書会やお話教室など、多くの人が気軽に利用できる図書館として発展してきました。

お話教室が毎週

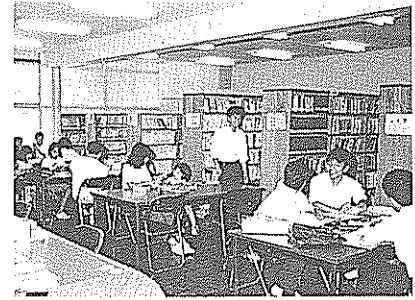
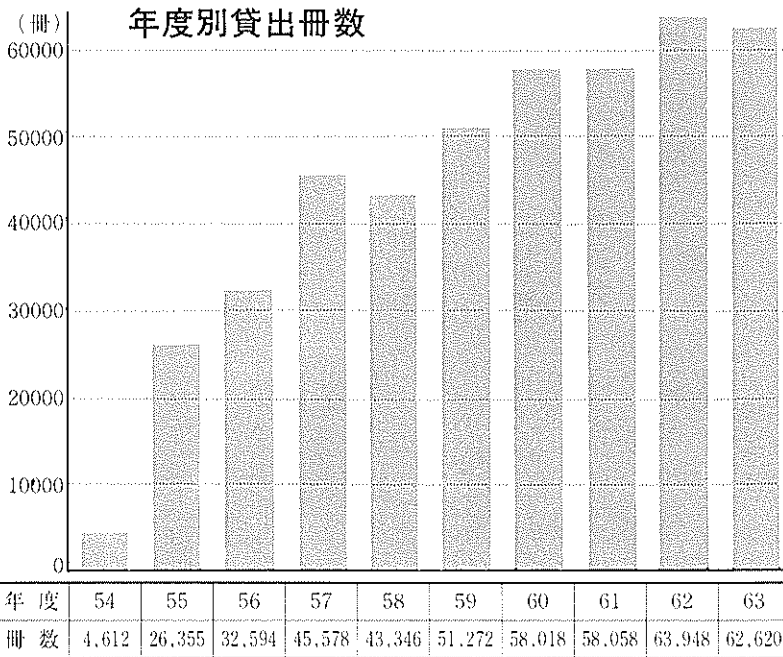
になりました

これまで毎月第一、第三土曜日に行われていたお話教室が、第一から第四土曜日までの月四回開かれるようになりました。

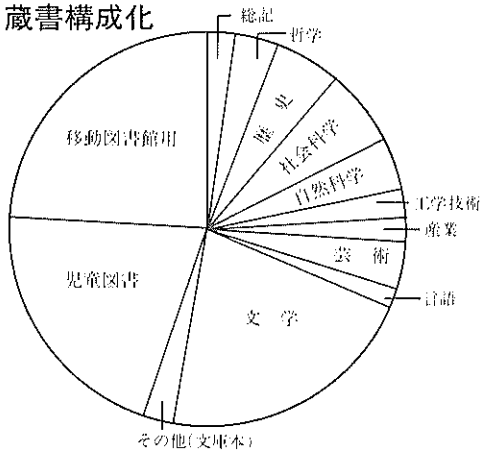
これは、市内に住む十一人の方が交代で子供たちに読み聞かせや紙芝居、ストーリーテリングなどを行っているものです。

お話教室が始まる時間になると、お話好きの子供たちが集まり、そこで繰り広げられる話をおもしろそうに聞き入っています。お友達といっしょにぜひどうぞ。

○日時 毎週土曜日(第五週は休み) 午後一時三十分～二時
○場所 図書館二階会議室



蔵書構成化



図書館設立当時、図書館計画策定委員などを務めた栄枝利実教育研究所長は「産みの苦しみはあったが、できた喜びは大きかった。移動図書館ができて利用者が伸びたことからわかるように、設備的な充実とともに、地域、市民に溶け込んだ図書館を目指していくことがたいせつ」と語っていました。